

第4回

地域福祉映画会

大川小学校 津波裁判を闘った人たち

生きる



©2022 PAO NETWORK INC.

「あの日、何があったのか」「事実と理由が知りたい」
親たちの強い思いが、10年にわたる唯一無二の記録となった——

2011年3月11日に発生した東日本大震災で、津波にのまれて全校児童の7割に相当する74人の児童（うち4人は行方不明）と10人の教職員の命が失われた大川小学校。地震発生から津波到達までは約51分、ラジオや行政の防災無線で情報は学校側にも伝わり、スクールバスも待機していたにも関わらず悲劇は起きた。その事実や理由について行政からの説明に疑問を抱いた一部の親たちは、真実を求めて提訴に至る。わずか2人の弁護団で、いわれのない誹謗中傷も浴びせられる中、親たちは“我が子の代理人”となって証拠集めに奔走する。

日程 7月11日(金)

- ・この映画会は無料です
- ・先着順▶各回80名（申込不要）

上映時間 124分【日本語字幕付き】

1回目▶13:00～(12:30～受付)

2回目▶16:00～(15:30～受付)

会場

大阪市社会福祉研修・情報センター 5階
(大阪市西成区出城2-5-20)



社会福祉法人ヒューマンライツ福祉協会

TEL 06-6636-9900